



# 令和3年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成27年基準】

## 1 概況

生産指数	100.6	前年比11.8%の上昇
出荷指数	96.6	前年比10.1%の上昇
在庫指数	109.5	前年比2.0%の低下

令和3年1年間の生産指数は、化学工業等が低下したものの、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等が上昇したため、前年比11.8%の上昇となった。

また、出荷指数は、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等が上昇したため10.1%の上昇となり、在庫指数は、化学工業、食品工業等が低下したため2.0%の低下となった。

(図-1)

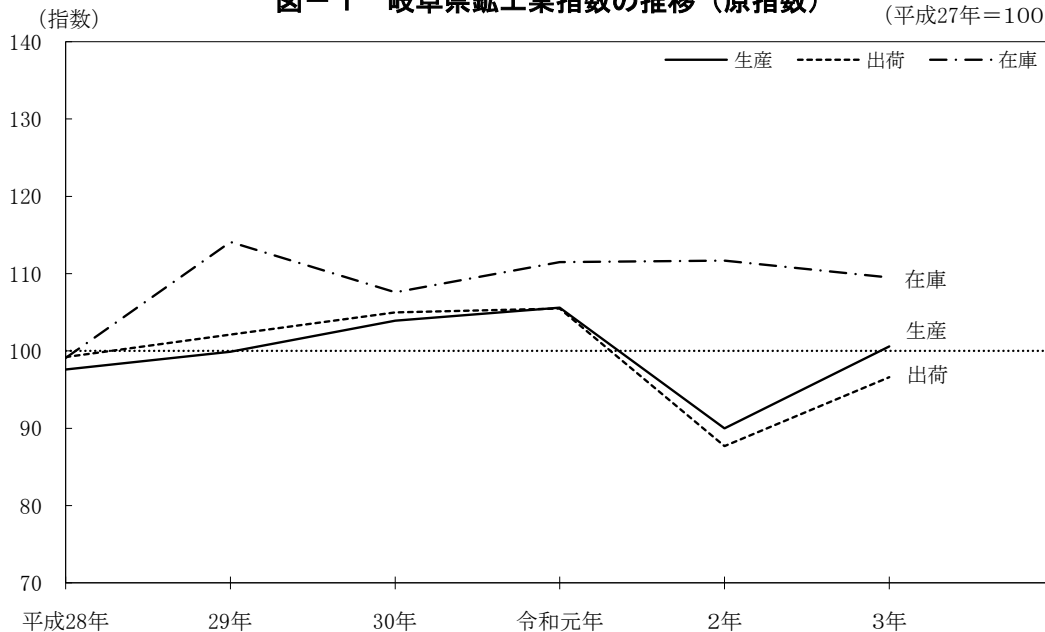
(平成27年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成28年	97.6	△2.4	99.2	△0.8	99.1	△3.1
29	99.9	2.4	102.1	2.9	114.1	15.1
30	103.9	4.0	105.0	2.8	107.6	△5.7
令和元	105.6	1.6	105.5	0.5	111.5	3.6
2	90.0	△14.8	87.7	△16.9	111.7	0.2
3	100.6	11.8	96.6	10.1	109.5	△2.0

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

(平成27年=100)

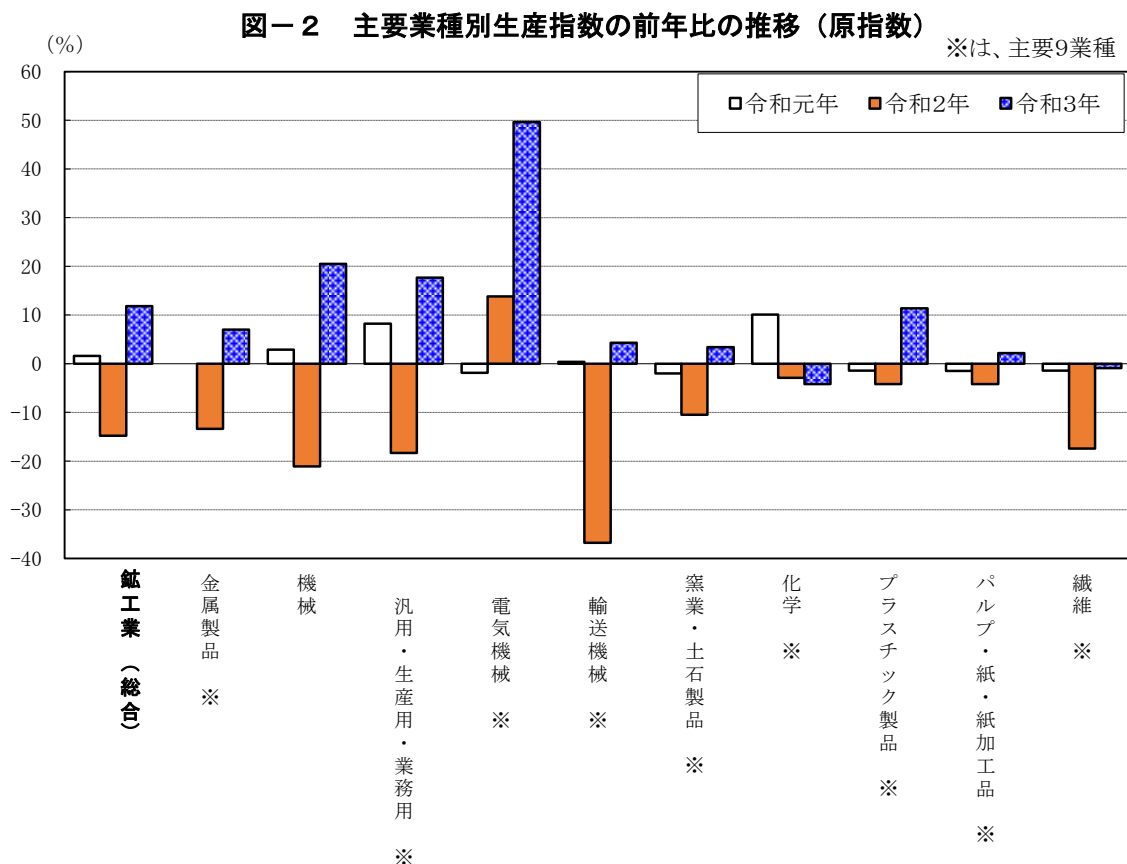


## 2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種(※)の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、金属製品工業(前年比7.0%)、汎用・生産用・業務用機械工業(同17.7%)、電気機械工業(同49.6%)、輸送機械工業(同4.3%)、窯業・土石製品工業(同3.4%)、プラスチック製品工業(同11.4%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同2.2%)の7業種となった。

一方、低下したのは、化学工業(同△4.2%)、繊維工業(同△0.9%)の2業種となった。

(図-2、表-1)



## 3 全国、中部との生産指数の比較

令和3年の全国における生産指数は、前年比5.6%の上昇であった。

また、中部においては、8.1%の上昇であった。

(平成27年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成28年	97.6	△2.4	100.0	0.0	99.9	△0.1
29	99.9	2.4	103.1	3.1	105.6	5.7
30	103.9	4.0	104.2	1.1	107.5	1.8
令和元	105.6	1.6	101.1	△3.0	104.4	△2.9
2	90.0	△14.8	90.6	△10.4	90.9	△12.9
3	100.6	11.8	95.7	5.6	98.3	8.1

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

資料：経済産業省、中部経済産業局

## <令和3年 岐阜県鋳工業指数の詳細について>

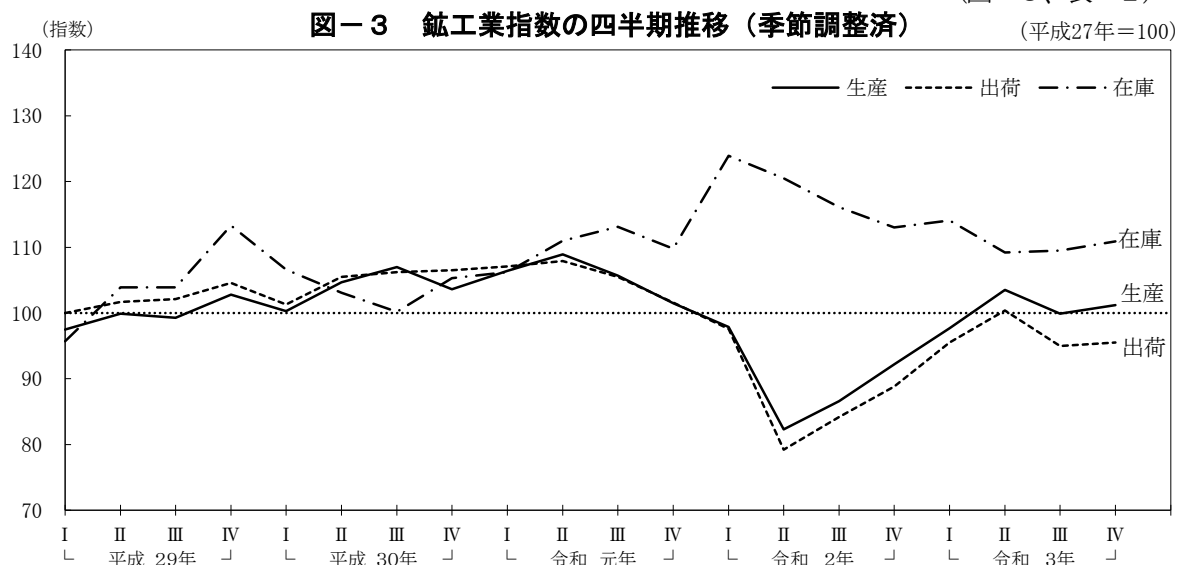
### 1 鋳工業指数の四半期推移

令和3年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は6.0%、第2期は5.9%の上昇、第3期は3.5%の低下、第4期は1.3%の上昇となった。

また、出荷指数も同様に、第1期、第2期が上昇、第3期が低下、第4期が上昇となった。

なお、在庫指数は第1期が上昇、第2期が低下、第3期、第4期が上昇となった。

(図-3、表-2)

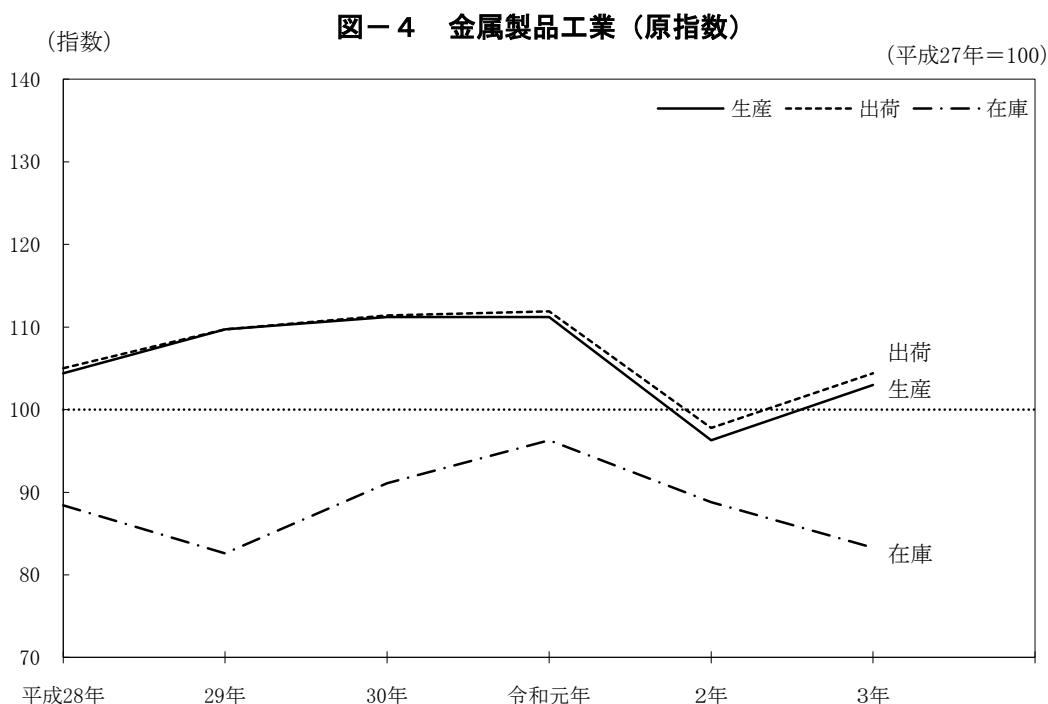


### 2 主要業種別指数の動向

#### (1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比7.0%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比6.7%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、はさみ等が減少したため、前年比6.2%の低下となった。

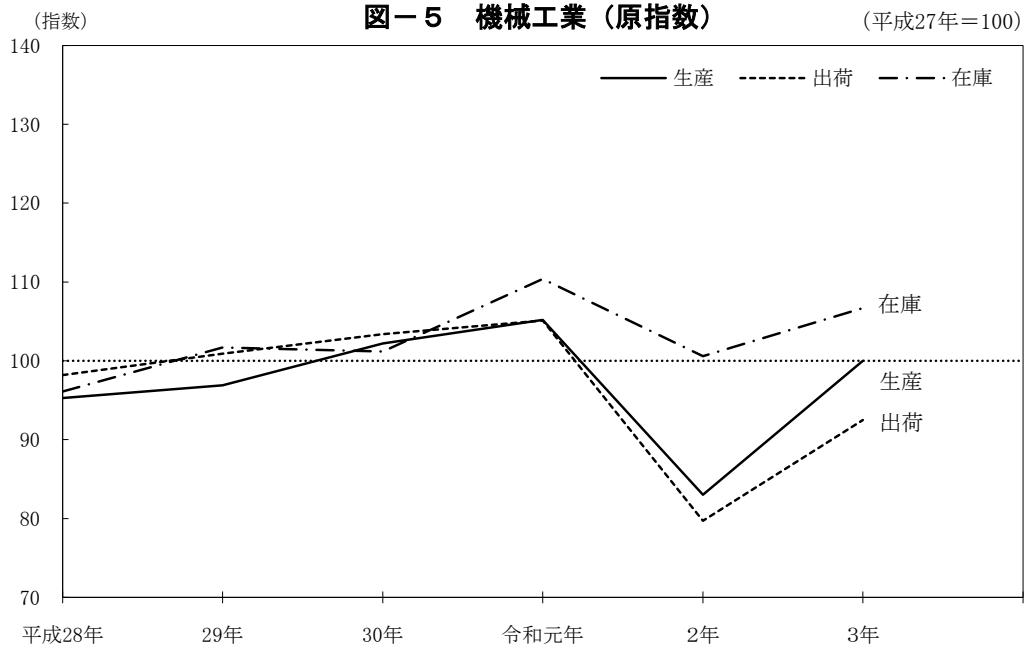
(図-4、表-1)



## (2) 機械工業

- ・ 生産指数は、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業が上昇したため、前年比20.5%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比16.1%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比6.1%の上昇となった。

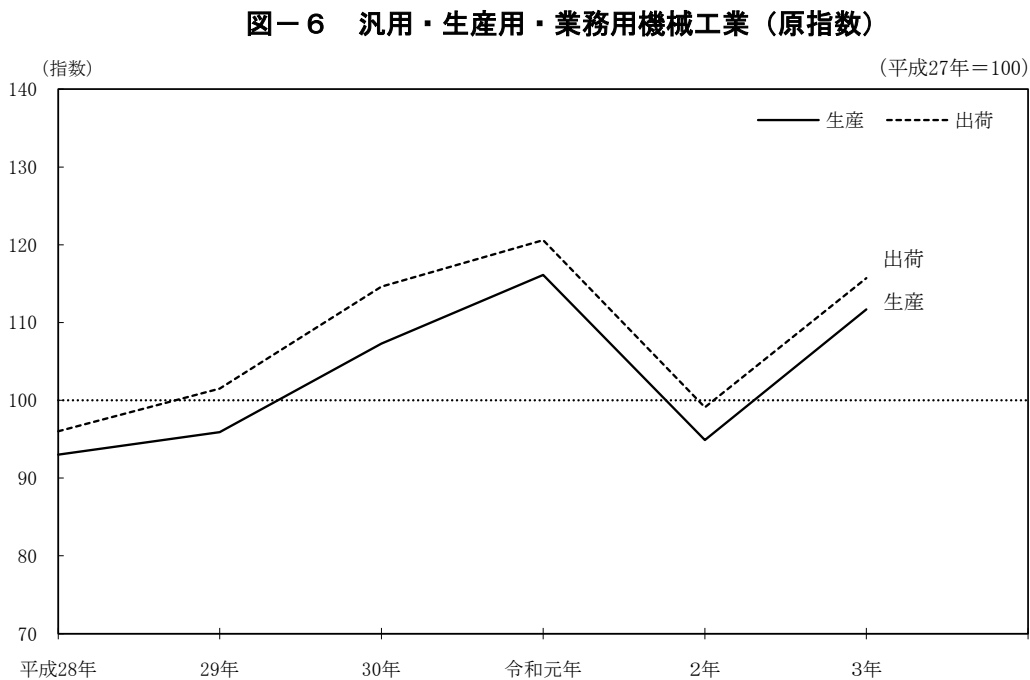
(図-5、表-1)



## (2) -ア 汎用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、金型等が増加したため、前年比17.7%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、油圧機器等が増加したため、前年比16.8%の上昇となった。

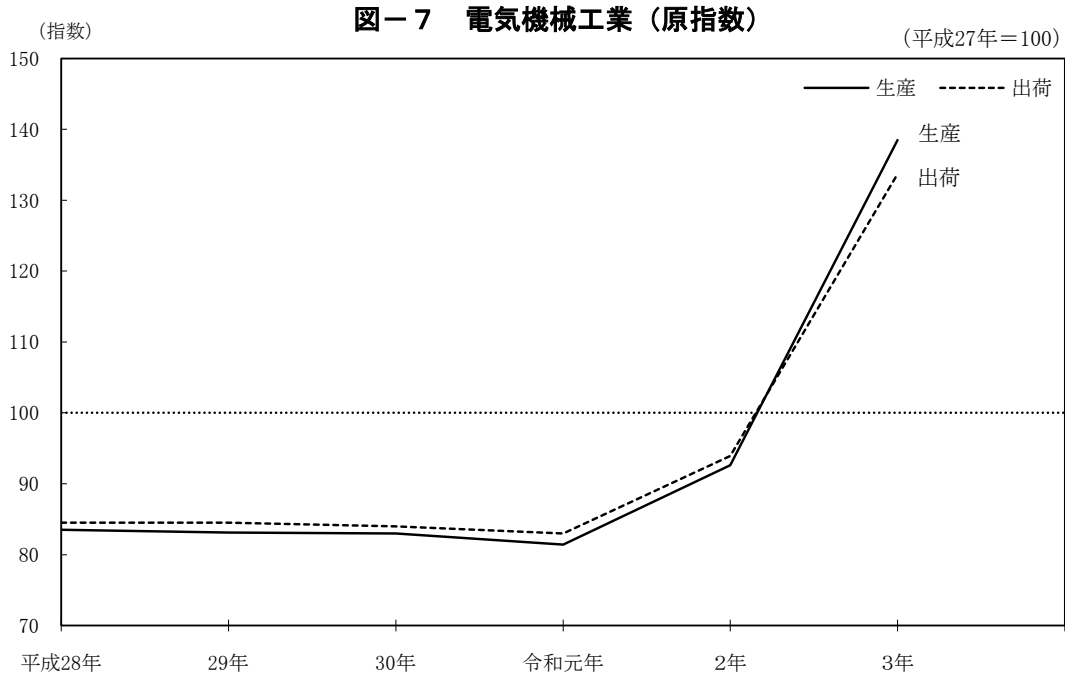
(図-6、表-1)



## (2) -イ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比49.6%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が増加したため、前年比42.4%の上昇となった。

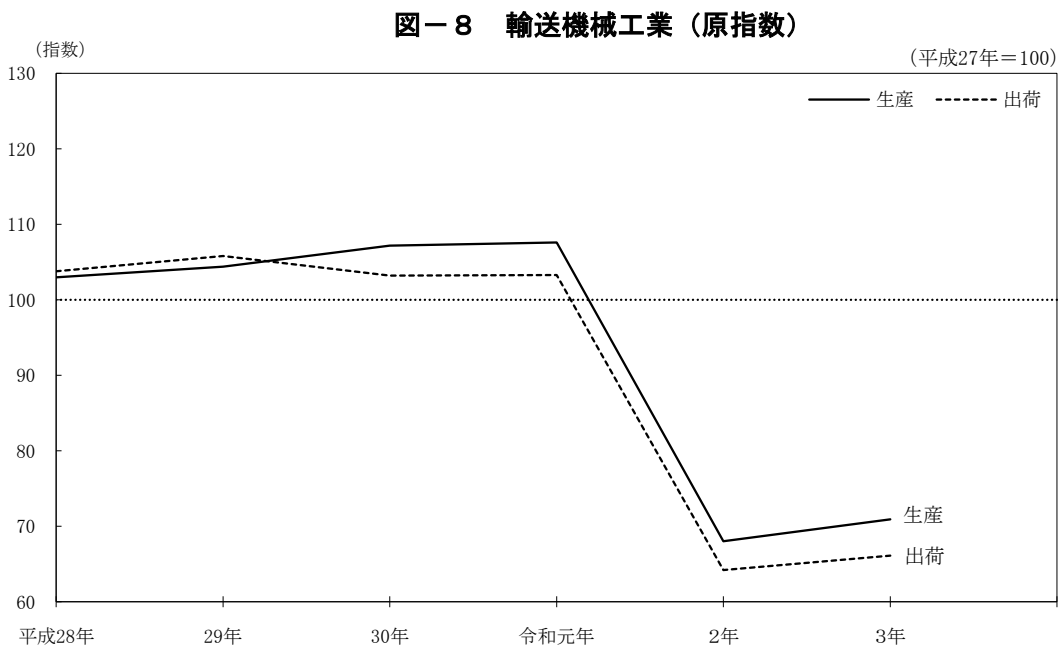
(図-7、表-1)



## (2) -ウ 輸送機械工業

- ・ 生産指数は、前年比4.3%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比3.0%の上昇となった。

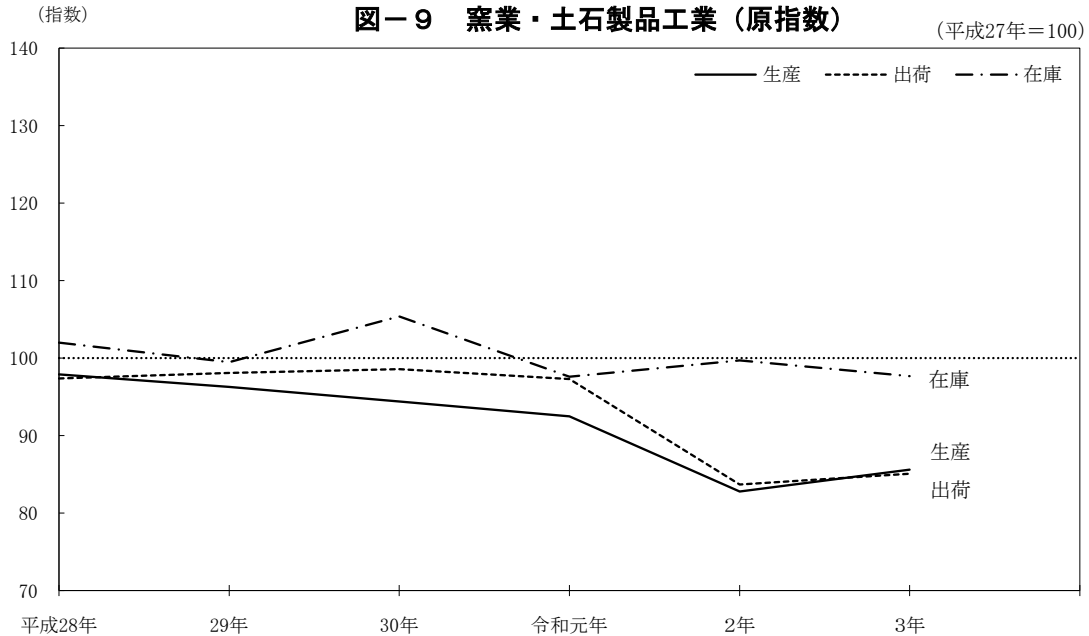
(図-8、表-1)



### (3) 窯業・土石製品工業

- ・ 生産指数は、耐火れんが（不定形耐火物を除く）等が増加したため、前年比3.4%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、耐火れんが（不定形耐火物を除く）等が増加したため、前年比1.7%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したため、前年比2.0%の低下となった。

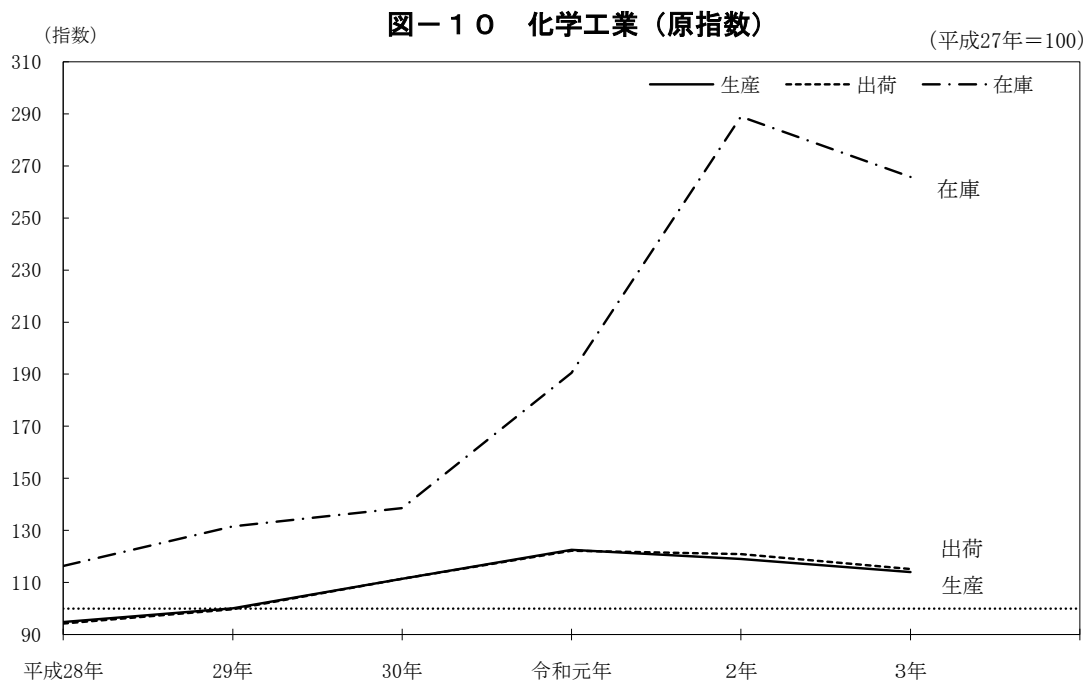
(図-9、表-1)



### (4) 化学工業

- ・ 生産指数は、医薬品等が減少したため、前年比4.2%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、医薬品等が減少したため、前年比4.7%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、前年比8.0%の低下となった。

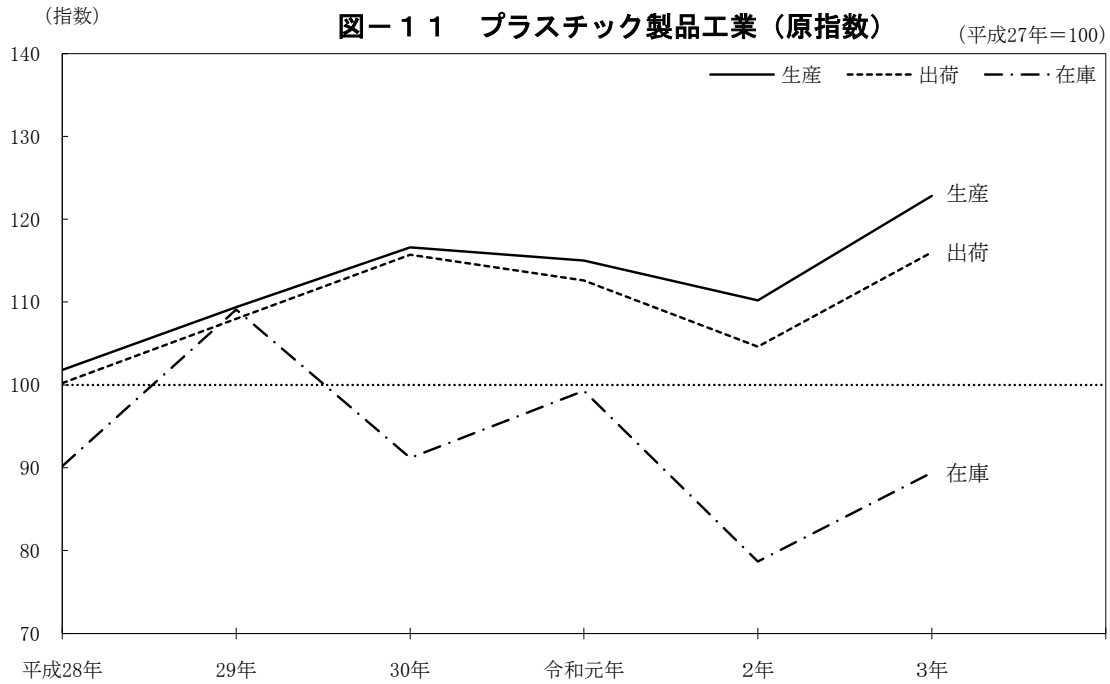
(図-10、表-1)



### (5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比11.4%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比10.9%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比13.6%の上昇となった。

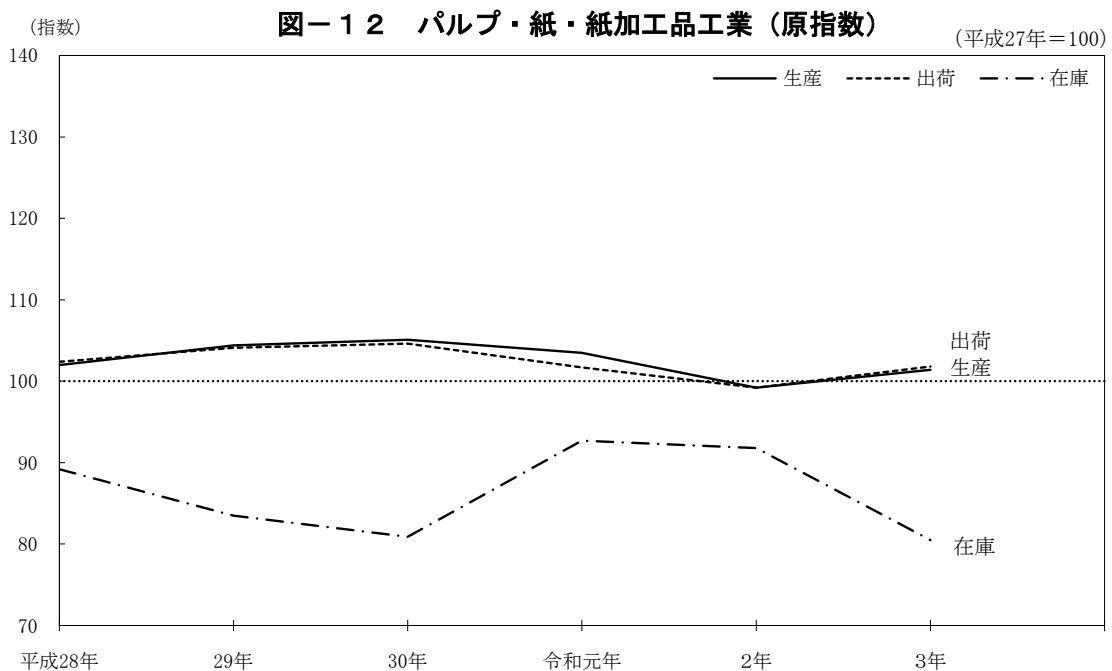
(図-11、表-1)



### (6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、段ボール等が増加したため、前年比2.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、段ボール原紙等が増加したため、前年比2.6%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、雑種紙等が減少したため、前年比12.3%の低下となった。

(図-12、表-1)



## (7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、不織布等が減少したため、前年比0.9%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、不織布等が減少したため、前年比0.7%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、合成繊維糸等が減少したため、前年比15.3%の低下となった。

(図-13、表-1)

